

羽生市議会議員 ゼロからの挑戦！～第2章～

中島なおき 無所属



羽生のこねからを考えよう!



羽生市教育研究会歓送迎会
ちょこっとご挨拶



若手政治家養成塾勉強会
ふじみ野市の空き家対策について



お金をかけない選挙を応援
友人の選挙カー看板を作成



街区表示板に
ムジナもんが登場!



富士河口湖町との経済交流協定、防災協定の調印式
羽生市史に新たな1ページが加わりました。



お彼岸の中日
家族でご先祖様のお墓参り

「ゼロからの挑戦日記。」ほとんど毎日更新中!

中島なおき

検索

選挙のときだけ街中に現れ、そのほかはいったいどこで何をしているかわからない…。そんな地方議会議員の印象を払拭すべく、日々の活動を休まず綴る市議会議員奮闘記！議員活動、政治活動、議会報告、私的主張、視察報告、行事参加の様子、市政、議会裏話など紙面だけでは伝えられない情報満載です！携帯電話からもアクセスできます。

～平成25年度 6月定例会が終了しました。～

中島が見る市政—押し情報

①耐震、改修工事が始まります。

築38年の市庁舎の耐震改修工事と築31年の産業文化ホールの大規模改修工事が始まります。市庁舎は今年度末まで、産業文化ホールは来年度までかかる予定です。



②市職員の給与を引き下げます。

政府の要請により、震災被災地の復興財源確保のため、市役所職員の給与が7月から来年3月まで時限的に平均5.5%引き下げられます。



③風疹予防接種の助成を行います。

昨年の秋以降、30代、40代の男性を中心に大流行をしている風疹に対する予防接種費用の一部を助成します。抗体を持たない19歳から49歳までの男女が助成対象です。紙面の都合で詳細は記載できませんので、市HP、「広報はにゅう」をぜひともご確認ください。

風疹に対して理解を深めていただき、ぜひ多くの方に予防接種を受けていただくことを希望します。

事業予算を組んでも、皆さんに活用していただかなくては、事業そのものが活かされません。



6月定例会中島なおき24回目の一般質問

中島なおき 発言録

検索

税込確保、雇用の創出、市長の選挙公約に対する考え、健全な民主政治の構築という視点から、以下2項について質問を行いました。

掲載は紙面の都合上、質問、答弁とも大幅に割愛しています。タイムラゲは生じますが、中島の議会での発言は「羽生市議会議員 5番 中島直樹(無所属)の議会発言録」でご確認ください。



① 企業誘致活動について

Q 税込の確保、雇用の創出、地元商店街活性化などの効果をもたらす企業誘致は非常に重要な施策と考える。市長は選挙公約にも「積極的な企業誘致」を掲げているが、今年度の事業予算は13万8千円と少額であり、積極的に取り組んでいるように見えない。現在、羽生市は具体的にどのような誘致活動を行っているのか？

A また、奨励金制度の充実や多くの人々が集まるゆるキャラさみつとの活用、市HPの積極的な活用など行うべきと考えるが見解を伺う。

Q 羽生市企業立地促進条例の制定、先進事例の視察、県主催のセミナーや企業との懇親会に参加し、情報の収集と発信に努めている。条例制定や奨励金制度は予算には現れない事業である。条例制度の拡充を検討するとともに、イベントも活用していきたい。市HPへの掲載も企業側の立場になり工夫をしていく。

② 投票率の向上をめざして

Q 選挙は最大の政治参加と言われるが、全国的に投票率の低下が大きな問題となっている。投票率がこのまま下がり続けるようでは、利権まみれの政治になるだけでなく、民主国家の根幹を揺るがしかねない。和光市、春日部市などに倣い、特徴ある啓発活動を行うべきと考えるが、羽生市選挙管理委員会の見解を伺う。また期日前投票をより活用しやすくするため、市HPから宣誓書のダウンロードを可能にし、投票所に持ち込めるようにしてはどうか？

A 羽生市選挙管理委員会でも近年の投票率の低下には危機感を感じており、特に若年層の選挙離れは喫緊の課題と捉えている。県の出前講座と連携して、小学校での選挙啓発や中学校生徒会選挙では選挙備品の貸し出しを行っている。年一度行われる中学生議会も、政治への関心を高める機会になっていると考える。期日前投票の宣誓書は、昨年末の衆院選から市HPよりダウンロードが可能になっている。今後は一層の周知を図っていききたい。





公職選挙法に関するお知らせ及びお詫びとお願い

市議会議員という立場から、地区や各種団体から総会、歓送迎会、各種行事のご案内を年間通して多くいただきます。お招きいただいたものに関しては、可能な限り出席をさせていただいております。

しかし、誠に申し訳ございませんが、酒席となるにもかかわらず、案内状に会費の明記がないものは全て欠席をさせていただきます。

理由は2点あります。まず1点目は、会費の明記のない会合で会費と称しお金をお渡しすると、それが寄付行為とみなされ公職選挙法に抵触する恐れがあるということ。

2点目は、公職選挙法に抵触する恐れがあるからといって、酒席であるにもかかわらず、飲食相当分のお支払いをせず、飲食をするということは、タダ食い、タダ飲みであり、著しく人道に背くという、私自身の価値観によるものです。



公職選挙法の中でも、文書や表現の違反とは異なり、金銭にまつわる違反が発覚した場合、選挙管理

委員会や警察からの「注意」や「警告」ではなく、一発で「逮捕」という事態も十分に考えられます。

市議会議員としてのキャリアも7年目を迎えました。私にはこれから



先、やりたいこと、やらなければならぬことが山積しています。「公職選挙法違反」という、最も初歩的なことでもつまずき、自らの道を、自らの手で断つわけにはいきません。

公職選挙法には矛盾点や不条理な条文があり、それらを守る事で、時として皆さまのご厚意に背かなくてはならないことがあるかもしれません。

しかしそれは、市議会議員といえども政治に携わる人間として、「正しい活動」を続けるためであることをどうかご理解ください。

私はこれまで、いつ、何時、どこから、どのように叩かれても、埃が出ない活動を続けてきました。これからも変わりなく、一切埃がでない活動を続けていく決意でいるということ、合わせてご理解いただきますようお願いいたします。



おおいくさ いずれ必ず挑む大戦に向けて！

私、中島は、正真正銘「地盤、看板、カバンなし」、この6年半、たった一人で、政治活動、議員活動が続けています。日頃から、「お金をかけない活動」を心がけていますが、積極的に活動をすればするほど、支出が増えることが現実であり、著しい資金不足に苦慮しております。

そんな中、今回、決して遠くない将来、必ず挑む大戦(おおいくさ)に向けて、皆さまからの「しがらみのないカンパ(政治献金)」を募集します。羽生の古い、古い体質に風穴を開けるには、いかにして「しがらみ」や「利権」を持たず、自分の信念に基づき行動できるかにかかっています。少額で構いません。ぜひともご協力をお願いいたします。

政治資金規正法により、毎年、埼玉県選挙管理委員会に収支報告書を提出することが義務付けられておりますが、5万円までの入金については個人情報公開されることはありません。過去3年分の私の政治団体「中島なおきを応援する会」の収支報告書は埼玉県選挙管理委員会のホームページでご覧いただくことが出来ます。なお、一般市の市議会議員政治団体への献金は寄付控除の対象にはなりません。予めご了承ください。



<振り込み先> 武蔵野銀行 羽生支店 (普)1028912 中島なおきを応援する会

平成24年度 政務調査費の使途を全て公開します！

羽生市議会議員には、年額14万4,000円（月額1万2,000円）の政務調査費が所属会派の人数に応じて会派に支給されます。

しかしながら、私、中島は会派には属していないため、個人に支払われているとともに、市議会の規約に則り、大変有意義に使わせていただいております。

紙面の都合により、右記のようにまとめておりますが、詳細は拙ブログの4/16をご確認下さい。また、議会事務局にお問い合わせいただければ、すべての領収書の写しをご覧いただくことが出来ます。

地方自治法の改正により25年度から「政務調査費」改め、「政務活動費」と呼称が変更されました。これまでは認められなかった要請、陳情等の活動にも使えるようになり

| 使途 | 金額 |
|------------------|----------|
| 書籍(13冊) | ¥17,391 |
| SDカード・ファイル | ¥4,762 |
| 活動レポート用紙・印刷機インク | ¥65,912 |
| 活動レポート配布燃料代 | ¥8,724 |
| 勉強会・研修会交通費 | ¥15,888 |
| 勉強会・研修会参加費 | ¥6,500 |
| 福島県双葉郡視察 | ¥15,000 |
| 号外レポート郵送代 | ¥7,150 |
| 報告会会場費・茶菓代 | ¥2,000 |
| 事務所電話設置基本料(8か月分) | ¥800 |
| | ¥144,127 |

した。その他の目立った変更点はありません。

No.37レポートに誤りがありました。訂正します。

25年度の新事業費は太陽光発電施設の運営【1,000万円】羽生北小2号館大規模改造工事実施設計【790万円】が正確な金額です。お詫び、訂正いたします。



【中島なおき(直樹)の生きざま】

- 昭和47年11月生まれ(40歳) 身長184センチ 体重75キロくらい 血液型 A型 さそり座
- 埼玉栄高校普通科 日本福祉教育専門学校社会教育学科 日本大学法学部政治経済学科卒業
- 神奈川県内の児童福祉施設勤務を経て、鴻巣市社会福祉協議会職員となる
- 平成18年(33歳)埼玉県内の若手地方議会議員有志主宰の「若手政治家養成塾」へ入塾
- 平成19年(34歳)正真正銘「地盤 看板 カバンなし」から羽生市議会議員一般選挙に単身挑み初当選
- 平成23年(38歳)羽生市議会議員一般選挙に2度目の立候補 現職無所属候補のほとんどが前回よりも票を落とす中、唯一得票を大きく伸ばし再選を果たす
- 所属:第2期若手政治家養成塾副代表 NPO法人地方議会制度研究センター副代表理事 青年地方議員の会
- 趣味:釣り 読書 家庭菜園 写真 ■特技:ギター弾き語り バasketボール ハンドボール
- 家族:保育士の妻 長女11歳 次女9歳



建設的なご意見をお聞かせください！

中島なおき事務所
議会&活動レポート No.38

〒348-0071 羽生市南羽生 4-17-2
☎070-6526-8612 Fax 048-562-4231
✉ japanist0422@live.jp

※ このレポートは、他人に委ねる事無く、毎回、中島本人が直接皆様にお届けしています。